

要 望 書

熊本県八代地域の施設園芸における
燃油価格高騰対策について



八代地域の施設園芸（八代市昭和地区）

令和4年7月

熊本県八代市

熊本県氷川町

八代地域農業協同組合

熊本県八代地域の施設園芸における 燃油価格高騰対策について

八代地域では国内有数の施設園芸が営まれており、特にトマトは約550haの栽培面積を有し、日本一の生産量を誇るとともに安全・安心な農産物を全国に届ける野菜供給基地としての重要な役割を担っています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響などによる農産物の販売価格低迷や生産資材価格の上昇、トマト黄化葉巻病のまん延による収量減少など、施設園芸農家を取り巻く現状は極めて厳しい状況にあります。

また、八代地域の施設園芸は冬場にA重油を使用しており、生産経費に占めるA重油の割合が高いことから、今般の100円/lを超えるA重油価格の高騰が更なる追い打ちとなり、施設園芸農家は難しい経営判断を迫られ、産地の維持・存続が危ぶまれています。

これまで、施設園芸農家は施設園芸等燃油価格高騰対策における施設園芸セーフティネット構築事業への加入や、燃油使用量を削減するための内張カーテンや循環扇の設置及び関連機材の導入など、国庫事業等を活用しながら最大限の取組を進めていますが、個人や地域の取組だけでは対応が困難な状況となっています。

つきましては、現状を改善するとともに八代地域の施設園芸の安定的な経営を実現するため、下記の事項について要望いたします。

記

1. 施設園芸等燃油価格高騰対策のうち施設園芸セーフティネット構築事業における国の積み立て割合を増加し、農業者の負担割合を軽減するとともに、公募機会の増加等、制度の充実を図ること。

令和4年7月

八代市長

中村博生

氷川町長

藤本一匡

八代地域農業協同組合
代表理事組合長

山住昭二